

正面エリア 入り口から最も近いエリア 正面の建物に入り、右側にお土産コーナー 左側は本館がある。本館に入って目の前が受付であり北側に進むと露天風呂につながる温泉があり南側に進むと休憩スペースがある。	図面の南側にギャラリーやマッサージルーム、ゲームセンターがあります。このギャラリーでは本館の利用客に温泉の研究施設での活動を記したポスターや地層の化石、湯郷温泉の歴史など様々な展示物を見せることで美作や温泉についてよく知ってもらいたいと思います。また、ギャラリーで展示するものを保管する資料室があります。北側は山に埋もれており、食堂や宿泊客用の宴会室があります。食堂や宴会室へ行く途中の廊下に分岐があり中心部のカフェとエステに繋がっています。1階～2階のカフェ、3階にエステがあります。また、上から温泉の滝が流れており、施設の一部分がガラス張りになっているので上からの流れを見ることができます。滝をつくることで頂上の源泉から温泉水が敷地全体に行き届くよう設計します。
温泉エリア 温泉が集中しているエリア北側に大きな露天風呂と室内入浴所があり、南側には売店がある。西側には軽い運動ができるオープンスペースもあり、美作の地層や新たなスパ設備の開発を行う研究所がある。	
ウォーキングエリア Cのエリアは長い廊下状のエリアである。途中にギャラリーやマッサージルーム、ゲームコーナーなどがあり利用者が客室に向かう間に色々なサービスに興味を持ってもらい立ち寄らせる。	本館の東側には宿泊施設があります。一部が二階建てになっており、客室は一階に20部屋、二階に8部屋全部で28部屋あります。中央には自然に囲まれた足湯広場です。湯郷温泉の横にふれあいの湯という足湯がありますが、狭いので先客がいた場合入りづらい印象を受けました。そこで広い空間・たくさんの足湯を設け沢山の人が気軽に入浴できるようにしました。木々や草花に過去慣れた空間でリラックスできたり、ほかの旅客との話し合いの場にもなります。メインの温泉や足湯、宿泊所の客室まで長い廊下を歩くことになるがその間に様々な娯楽施設が設けられており、例えば温泉に入る前に屋外スペースで汗を流す。カフェでゆったり過ごす。ギャラリーで美作や温泉について触れもらう。入浴後にエステやマッサージをしてもらう。休憩スペースで休んだ後ゲームコーナーで遊んでもらうなど温泉や宿泊以外にも興味を持たせ立ち寄ってもらうことを目的としています。
食事エリア Dのエリアの一部が山に埋まれており食堂やカフェ、宴会室など飲食ができる施設が多く点在している。また、山の頂上から流れる滝風呂を見ることができ	
客室エリア Eのエリアは主に宿泊所になっている。中央には客室までたくさん歩いてもらった足を癒す自然に囲まれた足湯広場がある。	



野外エリアパース



ギャラリールームパース



室内温泉パース②



頂上温泉パース



全体パース



夜景正面パース



お土産コーナーパース



食堂パース



休憩スペースパース



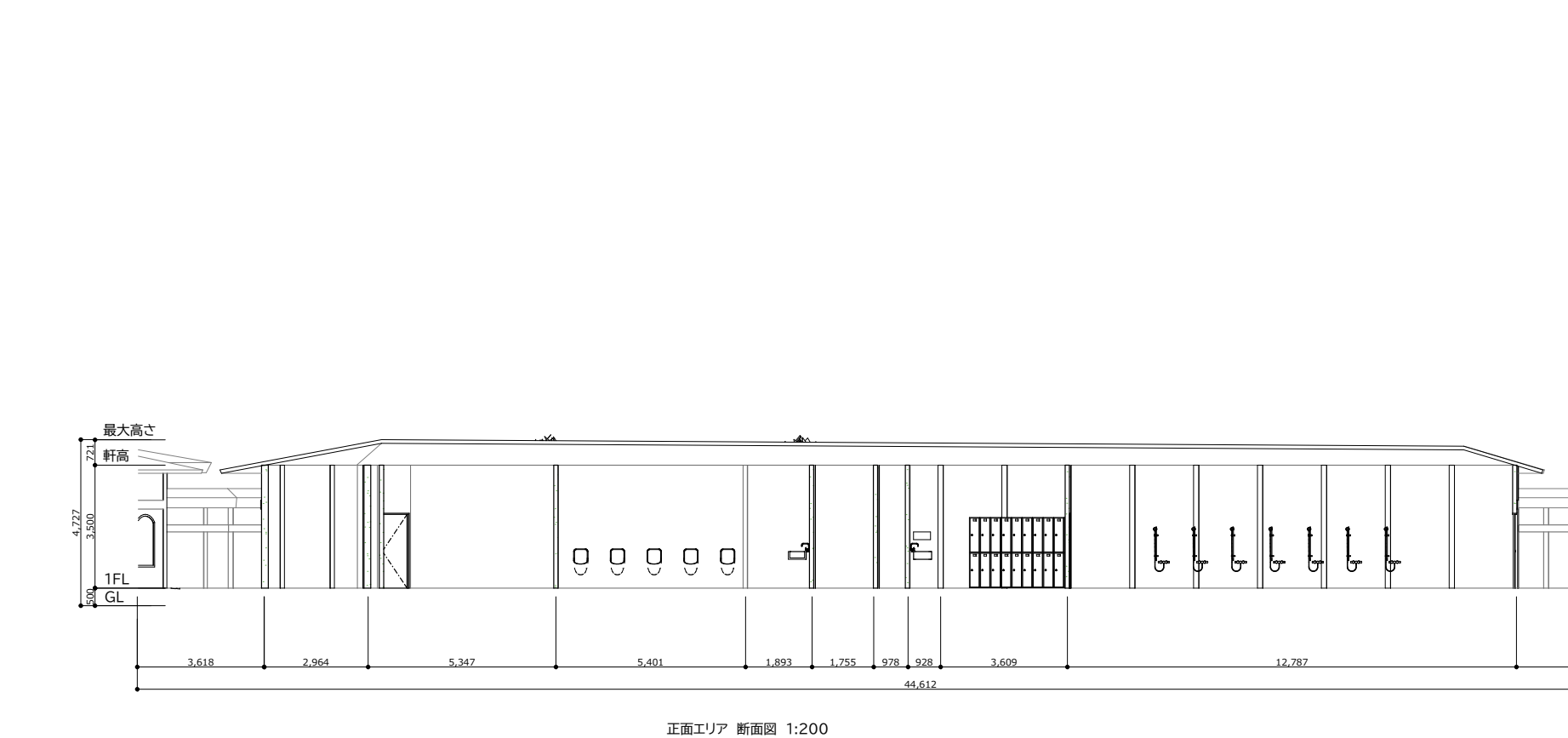
頂上温泉へ向かう階段



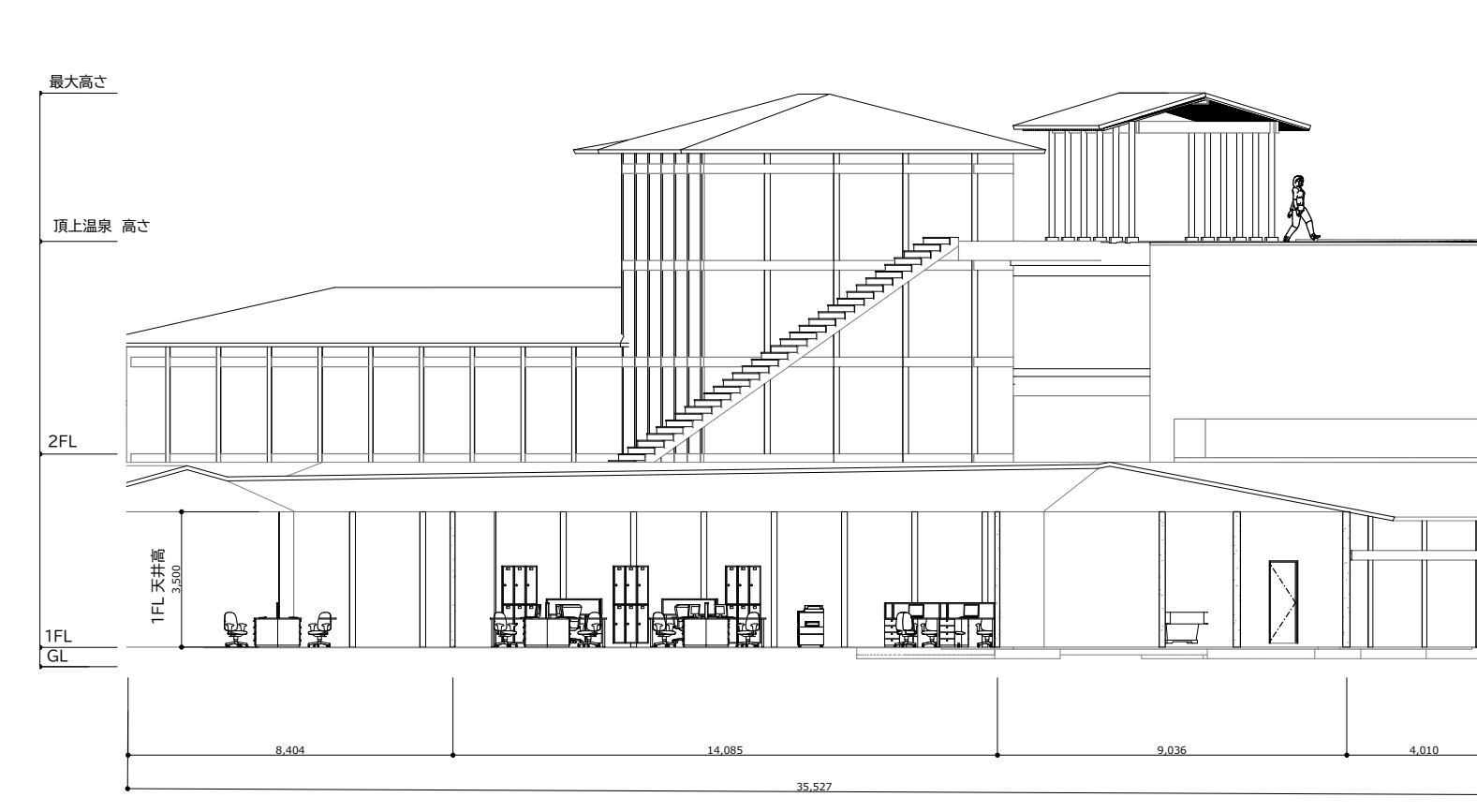
カフェ入り口



室内温泉パース①



正面エリア 断面図 1:200



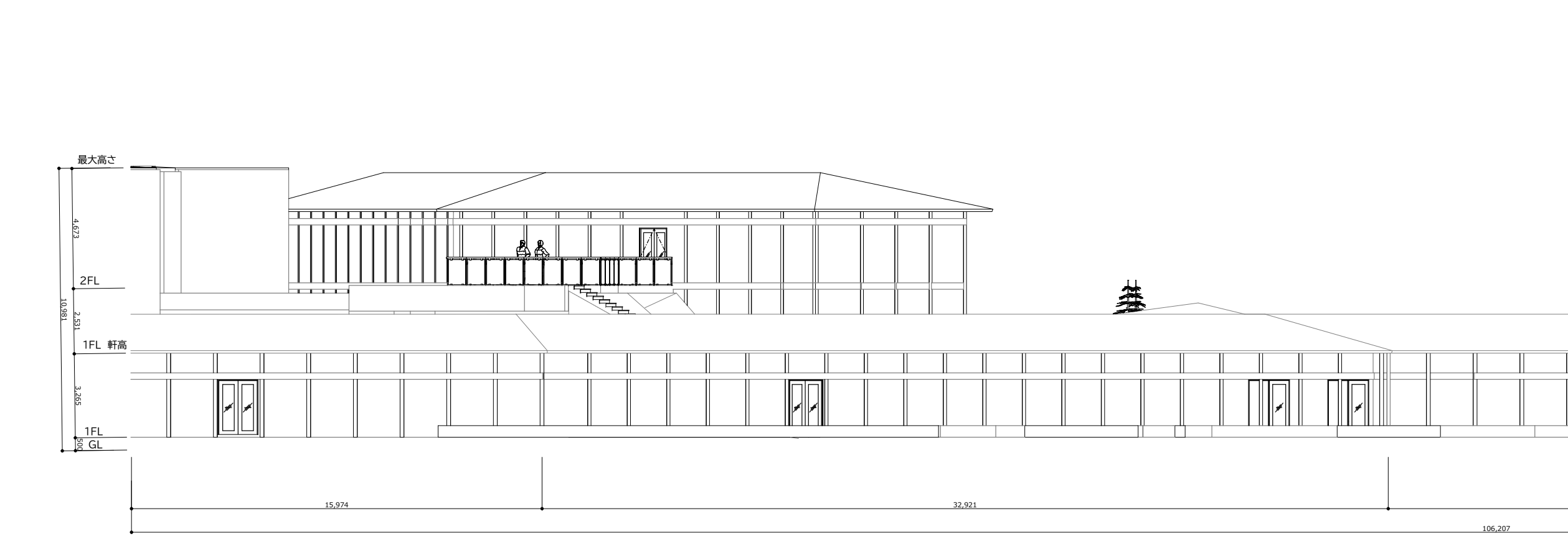
温泉エリア 断面図 1:200



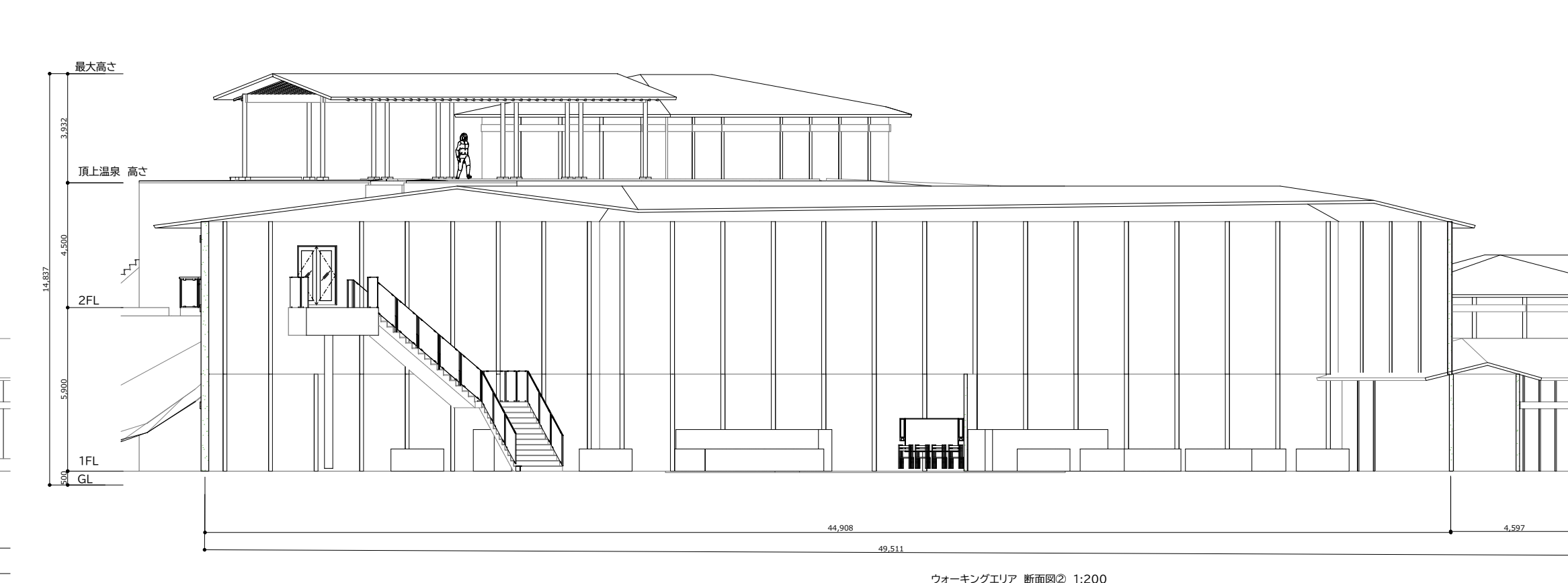
事務室 パース



足湯広場パース



ワーキングエリア 断面図① 1:200



ワーキングエリア 断面図② 1:200



ギャラリールーム パース